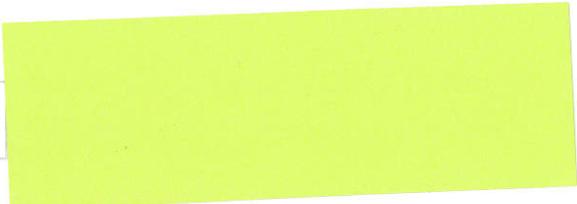




平成28年度 バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6 年 楽器 打 楽 器



私は、こんなに嬉しく泣きをしたことは始めてでした。

私は、こんなに練習して良かった、小学校最後の夏休みをささげて良かったと思つた
ことも始めてでした。

私は、こんなにドキドキしたことも始めてでした。

私は、こんなに幸せだと思つたことは始めてでした。

こんな体験をさせてくれたのは、「プログラム9番 江東区立東陽小学校」このたった一言
のおかげです。この言葉の裏には、4月1日「江東区立東陽小学校 金管バンド6年
生」というかんばんを始めて背負って、その重みと先輩達の思ひがどり伝わった日」こ
の日から私の6年生生活が始まりました。そして、運動会 - 8月3日「最初で最後の府中
の森芸術劇場で、東京都小学校吹奏楽コンクールしかあつた日」この日は、5年生が
臨海学校で参加できなく、4、6年生で参加して、ゴールド賞をもらいました。

そして、堂々と8月28日に行われた全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会に行け
ることになりました。 - 8月24日夏休みが終った日、保護者のみなさんの長いお弁当

期間が終わる日、この日は本当に感謝しています。お弁当を作るのはめんどくさい

のに、こんな長い期間作ってくれて本当にありがとうございます。感謝します。

また、このコンクールに出されたのも地域の方々、保護者みなさまのおかげです。

そして、今日、1月24日「有明コロシアムで全日本小学校吹奏フェスティバル東京都

大会が行なわれた日、この日はこの12年間で一番幸せだと感じた日です。

このけいんを生かして、全国大会にもなってみたいと思ひます。

地域、皆様、保護者のみなさま、学校の先生方、トラック

の運転手さん、そして、虫明先生本当にありがとうございました

でした。全国大会でも、いい演奏ができるようにあと2ヶ月と21日

を大切に練習してました」と思ひます。ありがとうございます

。





平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 アルトホルン

今日は今日一つはちょうどしました。
それは他の学校などとす
れちがったところにあいさつ
をするところとじかんで
たらへんじをすること
でした。結果は金良、
金同かと思つたけれど
ゴールド賞で全国
大会にいけることになりました。えんそうでは横
をおくときにはタイミング
がおくれてしまつたこと
です。全日本でもかんばり
たいです。



平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 チューバ

今日都大会に出て、演奏をして時自分で
吹いてる時はあまり伸びていなかったり感じたのですが
他の学校の演奏も聞っている時すごく
伸びたりして心の中では銀賞か金賞
思っていました。でも、実際結果発表を
聞くと「ゴールド金賞です」と聞こえすぐうれしかった
です。そして、またよりうれしかったのは全国大会へ
も出場ができることがあります。それを聞いてびん
せんじがすごく泣いてました。私も後から
泣いてしまって泣かせられました。
だからうれしい分大坂の全国大会も
しっかりがんばります。



平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 ブラス

今回のバンドフェスティバルでは「ゴールド賞」でした!!今まで

先生が教えてくれたことに感謝しています。保護者の方々と地域

の支えがあるからこそ、金賞をとれたので感謝します。金賞ヒ

いわれた時が泣いたのです。また喜んでいたときも涙が止まらなかったです。

練習の成果をはがれで演奏に取り思ひ出になります。

大阪の全国大会では金賞をとれるようにならんばかりで

いいです。特に校長先生がエールをおくってくれたおかげ

で大きな力になり「金賞」とされたと思います。ありがとうございます。

どうぞよろしくお願いします。



平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6 年 楽器 ユーフ

私は今日のバンドフェスティバル東京都大会で、今年で出

れるのが最後なので、金賞をとりたいなと思いました。

でも、多分無理かもという気持ちも少しありました。

たけど、ゴールド金賞といわれてすごくうれしくなりました。

とてもうれしかったです。しかも、金賞はそれでも、大阪

の大会は、いけないだろなと思っていたけど、大阪の

大会に行ける学校かよばれるときに、東陽小がよばれて

うれしそうで、おもいきり大きな声で「やー！」と言って

しました。千寿双葉小学校第7砂町小学校より上にな

なんて思ってもいかなかったので、なにかの間違ひではないかと

思つたけど、間違ひはありませんでした。そして、これからは、

今まで支えてくれた先生方、保護者の方々への感謝の気持

ちを忘れずに、大阪の大会に向けてがんばります。



平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 トランペット

今日、有明コロシアムでのコンクールがありました。

そこで私は自分の行動について厳しくして、取

り組みました。そのおかげで他の学校よりはや

く、大きな声であります事ができました。けれど

周りのトと見す勝手に行動してしまった事が1回

あつたので反省です。

演奏では今まで怒られたこと、細く教えられた

ことを行きに1つ1つ確認して、本番にいどみ

ました。とても緊張していたけれど、今までやって

きたことを、生一ぱり出しきらうと思って、頑張

りました。結果予想よりも吹けて、失敗もす

くなくなりました。終わった後は、吹かなきゃいけない!という緊張はなしな、たけれど、成績

発表での緊張がまたありました。そして、ついに

結果発表の時、

東陽小が呼ばれました!!

結果は、コールド・金賞でした。

しかも、金賞3校のうちの3校に選ばれ

大阪城ホールに行ける事になりました。すこく

うれしくて、涙かとまりませんでした。

大阪城ホールでも保護者、支えてくれた人へ

の感謝をゆすれか頑張りたいです。



平成28年度 バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6 年 楽器 トロニボーニ

私は、今日のバンドフェスティバルを、終えて、
演奏面では最初の合奏のとき、頭の中で、
何も考えずに吹いたり、楽器の向きや角度が、
パート全体でハラハラになってしまったり、
他のパートと強弱などを考え、ていませんでした。
ですが、会場について、チユーニック室では朝の反省を
ちゃんと直して、流れにのれたいい演奏ができたけれど、
本番では、会場が大きくて迷はしていましたから、
演奏する前にきちんと頭で流れをやくにして
良い演奏が出来たけれど、刻みの所でアタックが、
止まなくなってしまったので、「銀賞かな?」とみんなで話して
いたけど、植恒さんからせっかくに、金賞にな、て大阪
に行きたいと言っていたけど、大阪に行けるのは、3校

たけで、演奏中も先生がずっと指示してたので。

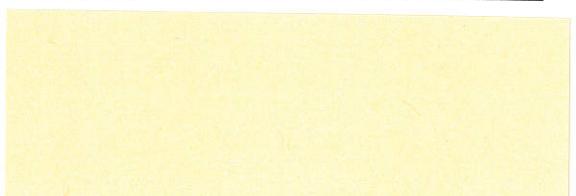
私はあきらめていたけれど結果発表のとき、金賞で
とてもうれしかったです。

それに、大阪にはなにかあっても明治小学校や

千種ヌヌ葉小学校など強い学校が多いはずですが
のではなく、下手していくと急にみんなが下るこ
とにして、何があったのかと思ったり、東陽小が
呼ばれていたのでとてもうれしかったです。

大阪に行けたのも、お母さん方や、が支えてくれたり
講師の先生たちがよりよいえんそくしてください
からです。

行動面では 8月3日の大会より返事が少な
かったので大阪では東京の代表として出るので
きちんとした態度を演奏で、また金賞を取ったと
思います





平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 アルトホルン

演奏終了後私は何回敗けてはったし、先生も少し

だめだったといっていたので銀賞だとあきらめていま

した。結果発表が始まってから、次々に上手い学校

「銀賞」といわれていって、私は東陽は銀賞もこれな

いと思いました。東陽の発表の前、金、金と黙っていました。

金もたらしても悔しいので銅、銅…と自分に言いきかせていました。そして東陽が「ヨー

ルド銀賞」と呼ばれたのを聞き、それは夢だと思

い、うでもつねってしまいました。つねつねい

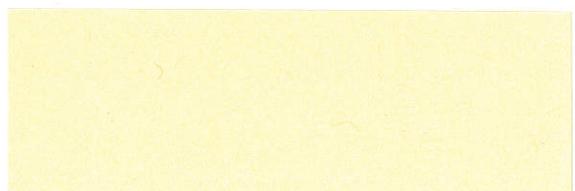
たかったので現実だと分かりましたか、金をこれ

たことかまだ信じられませんでした。次に全国大会

へ出場する団体を発表するときも、千寿双葉や早稻

田、富士や七石少に日月治などとても上手で全国

大会に何回も行ったことのある学校がいた
せんいたので、どうせ全国は無理だとあきらめ
ていました。そして東陽が呼ばれたときにはぐ
くらしきじてこと。もうでどつねってしま
いました。何分たっても全国へいけるという実感がも
りなくて私は本当にセントモニカや千寿双葉に勝ったのかと考
えました。今日、金賞をされたのも全国大会
へいくるのも今まで応援して下さった地域の方々
や先生方、ずっと支えて下さっていき保護者の方々の
おかげだと思います。全国大会では、ずっと応援して
下さっている方々や保護者の方々に感謝の意
を持ちを持って、東京都代表としてセントモニカや千寿双葉、早
稲田などの学校にも失礼しないように精一杯
演奏(たいでん)





平成28年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 トロンボーン

私は有明での東京都大会での課題を達成することができました。演奏する前はとても緊張していました。音出し(チューニング)のときも自分の音が心配でした。でも、虫明先生や益子先生に教わった事を思い出し本番に向かえました。本番では、43小節目からの鶴田さんとのメロディーで「堂々と吹く」を意識したり、始まりの方の流れを意識したり...身に付いたことを発揮できるように意識していました。本祭は失敗してしまっておりもあり何かしら結果は「金賞」で全日本大会進出できただので後悔はいたしません。とてもうれしかったです! 又、今日まで支えて下さった先生方、地域のみなさま、保護者の方々に感謝しています。ありがとうございます!!